

各部の重点事項

1 総務企画部

I 若者世代に対する地元定着意識の向上と就労意欲の醸成

1 若者定着のための就労環境向上に向けた企業との協働促進

(1) 若手従業員の早期離職防止に向けた同世代ネットワークづくりへの支援

管内企業における若手従業員の早期離職防止の一助とするため、就職後間もない同世代の若者同士のコミュニケーションを促進することで、職場の枠を越えたネットワークの形成（仲間づくり）を支援する。

- ・大館商工会議所合同入社式の参加者を対象として、入社半年後の11月に小グループによる体験型グループワーク研修会（交流会）を開催。

(2) 若者等の地元定着促進に向けた健康経営導入企業の拡大推進

管内企業への健康経営導入を推進することにより、地域の「若者に選ばれる企業」を拡大し、若者の地元就職・地元定着を促進する。

また、この取組を通じて、管内における「秋田県認定健康経営優良法人」の拡大（3法人から5法人へ）を目指す。

- ・管内企業の経営者及び人事総務担当者等を対象に、個別企業の理解促進と健康経営導入に関する意識を醸成する「健康経営セミナー」を開催（8月25日開催）。



〈令和3年度健康経営スタートアップセミナー〉

(3) 雇用拡大等へ向けた企業経営者等との意見交換会（社長会議）の実施

管内企業の経営者等との懇談を通じて、各企業が抱える課題や、その課題解決への取組内容等を把握し、管内での共有化を図るとともに、次年度以降の県及び地域振興局の施策事業へ反映する。

- ・若者の採用・育成に積極的な管内企業と振興局で、「若者の地元定着」をテーマとした意見交換会を開催（9月）。

2 児童・生徒等への地元企業情報提供による定着意識の向上

(1) 高校生・保護者・教員に対する地元企業の魅力PRと地元就職理解の促進

進路選択の時期にある高校2年生と、進路決定に大きくかかわる保護者・教員に対して地元企業の情報提供を行うことで認知度を高め、地元企業への理解を促進する。

① 高校2年生向け企業説明会（大館地区：2月2日、北秋田地区：2月8日）

- ・高校生が地元企業に関心を持ち、その魅力を理解し、就職の際の選択肢となる契機とするため、高校2年生を対象とした企業説明会（大館地区・北秋田地区）を開催。

② 保護者向け県内就職普及啓発事業（7月～12月）

- ・各高校のPTA総会等の機会を活用し、卒業後の進路決定に大きくかかわる保護者等に対する地元就職の魅力PRを実施。

(2) 中学生に対する「お仕事博覧会」の実施による地元企業・仕事内容への理解促進

次代の大館・北秋田地域を担っていく中学生に、地元の優れた企業や仕事を紹介し、ふるさとへの愛着心の醸成と地元定着意識の向上を図る。

- ・中学生が地域の仕事や地元の企業等を知り興味関心を持つ機会とするため、1・2年生を対象とした「お仕事博覧会（大館地区9校：7月12日、北秋田地区5校：6月28日）」を開催。



〈令和3年度 中学生向けお仕事博覧会〉

II 世界文化遺産「伊勢堂岱遺跡」を核とした誘客促進と周辺地域への波及効果拡大

1 伊勢堂岱遺跡の魅力を世界へ！県内外からの誘客強化

(1) 鹿角・北秋田・山本の3振興局連携による世界遺産PR

県北エリアの総合的なPRとなる鹿角・北秋田・山本の3地域振興局の連携による「世界遺産フェア」の開催をはじめ、多様で切れ目ない情報発信により、県内外から伊勢堂岱遺跡へ誘客するとともに、遺跡訪問者を周辺地域回遊へと誘導する。

①世界遺産「白神山地と縄文遺跡群」共同フェア開催

- ・鹿角・北秋田・山本の3地域振興局の連携により、秋田市のALVEでパネル・出土品展示、世界遺産ミニ講座、周辺観光PRなどを実施（7月30日）。

②世界遺産「白神山地と縄文遺跡群」PR

- ・県外事務所での展示や各種イベントでのPRに活用する世界遺産「白神山地と縄文遺跡群」ロールアップバナーを制作。

③道の駅との共同フェア開催

- ・県北エリアでの遺跡の認知度向上と興味関心を喚起するため、道の駅と連携した「世界遺産パネル展と物産フェア」を開催。

④YouTuber×ゆるキャラ 秋田の縄文魅力発信

- ・秋田県在住YouTuber「じゃんご」氏を招聘し、秋田の縄文遺跡群をテーマにした紹介動画をSNSを活用して発信。
- ・ゆるキャラなどを活用した地域の魅力PR動画をSNSを活用して発信。



〈令和3年度 世界遺産フェア〉



〈令和3年度 世界遺産フェア内 ミニ講座〉

(2) 世界遺産ガイドへの外国語対応サポート

伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイドを対象とした英語ガイド研修を実施し、外国人遺跡訪問者へのおもてなし力を向上させるとともに、観光客への周辺観光情報等案内の充実を図る。

- ・伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイドの中学生を対象に、伊勢堂岱遺跡や縄文館での英語ガイド力向上を目指す研修を実施（7月24日・31日、8月1日の3日間）。



〈令和3年度英語での遺跡ガイド・サポート事業〉

(3) オンラインを活用した管内の観光資源の売込み強化

県内外で開催される観光PRイベントへの参加や、管内の市村・観光事業者等と連携して行うオンライン観光PRにより、伊勢堂岱遺跡をはじめ、森吉山など大館市、北秋田市、上小阿仁村の観光情報を発信し、管内への誘客と周遊を促進するとともに、大館能代空港3便化継続へ向けた実績づくりに貢献する。

①県内外・広域連携観光PR事業

- ・県内及び近隣県等で開催される観光PRイベント等への参加により、管内の最新情報を中心とした観光PRを実施。

②大館・北秋田地域観光情報発信事業

- ・管内市村や観光事業者等との連携により、首都圏や関西圏、台湾等の旅行事業者をターゲットにしたオンラインでの地域観光情報PRを実施（1回目：7月5日、2回目：11月（予定））。

③振興局SNS等での定期的な情報発信

- ・振興局SNS（Twitter）を活用した管内最新情報の発信。
- ・管内市村や観光協会が運営するSNSとの連携をより一層推進。

2 北秋田地域の特色あるプロジェクト・構想の推進

(1) 田んぼアート制作等による秋田内陸線を活用した取組の推進

秋田内陸線を活用した誘客コンテンツとしての田んぼアートやサイクリング環境の整備などを動機付けとした伊勢堂岱遺跡及び周辺地域への誘客を推進する。また、管内でのスポーツ・ツーリズムの土台づくりを進める。

①田んぼアートによる誘客促進事業

- ・秋田内陸線沿線2箇所（平里地区・小湊地区）で、管内の観光資源をテーマにした田んぼアートを制作。

◇実施期間：5月（田植え）～10月（稲刈り）

〈令和3年度田んぼアート〉

◇テーマ：平里地区「秋田犬と青ガエル」、小湊地区「秋田犬と綴子大太鼓」



②自転車輸送サービスを活用したテストライド事業

- ・サイクリングコースとしての秋田内陸線沿線の強みや課題を把握するため、秋田内陸線の自転車輸送サービスを活用した自転車愛好家による「テストライド」を実施。
- ◇実施時期：9月～10月（1回）

（2）持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム※）に対する事業者理解の促進

将来にわたり地域の観光資源を守りながらも活用していく「持続可能な観光地」づくりに向けて、管内観光関連事業者のSDGsに対する理解を促進し、具体的なコンテンツづくりへの意識を醸成する。

- ・一般社団法人秋田犬ツーリズムと共同で「SDGsセミナー」を開催（大館市・北秋田市各1回）（1月）
- ◇対象：管内観光関連事業者（観光施設、宿泊施設、交通事業者、飲食店等）等

Ⅲ 持続可能な未来につながる安全・安心・健康 “きたあきた”**1 地域防災力の強化に向けたネットワークの充実****（1）自然災害や感染症発生時など危機対応ネットワークの充実強化**

自然災害発生時等における迅速かつ的確な対応に向けた危機対応ネットワークの充実と、地域の防災関係者の危機対応力の強化を図る。

①管内防災関係機関・ボランティア等ネットワーク会議の開催（7月22日）

- ・関係機関間の情報共有や意見交換を行うことで発災時の連絡・連携体制を強化するとともに、防災知識や対応力向上に資する研修を実施。

②鳥インフルエンザ対応訓練の実施（10月）

- ・防疫対応演習（机上訓練及び実地訓練）を実施し、管内発生時の初動体制と防疫対応力を強化。

③鳥インフルエンザ防疫関係機関連絡会議の開催（12月）

- ・発生リスクの高まる時期に管内関係機関における協力態勢等の確認を実施。



〈令和3年度 机上訓練〉



〈令和3年度 実地訓練〉

※サステナブル・ツーリズム：訪問客、産業、環境、受入地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光